

令和五年度  
名寄市立大学  
一般選抜 後期日程

小 論 文 問 題

試験時間 一〇時〇〇分～一一時三〇分（九〇分）

\*受験上の注意

- ① 指示があるまで開いてはいけない。
- ② 指示に従って、静粛に行動すること。
- ③ 机上には、受験票、HBの黒鉛筆またはシャープペンシル（シャープペンシルの芯はケースから取り出したもの）、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り、時計、眼鏡、目薬、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋・箱から取り出したもの）以外、不要な物は置かないこと。
- ④ 質問、用便その他、特に必要のある場合は静かに手を挙げ、指示を求めること。
- ⑤ 不正を行ったものは試験を中止し、以後の受験資格を失うものとする。

次の文章を読み、あとの間に答えなさい。

おしゃれなカフェでふたりの女性が話しています。友だちどうしでしょうか。

「わたし、このまま結婚しないでいようと思うんだ」

「ふくん、どうして」

「なんだか結婚って息苦しいし、このまま一人のほうがラクだなんて……」

「そっか、ま、人それぞれだもんねえ」

次に、とある大学の授業を覗いてみましょう。どうやら討論形式の授業をしているようです。

「今日のテーマは『私たちはオンラインの環境を制限した方がよいのか』です。グループに分かれて、一〇分くらい議論してください」

教員の掛け声とともに、学生が気だるそうに移動する。

「オンラインの制限だってよ。どうする？」

「どうしよっか」

「強制とか制限っていうより、人それぞれでよくね？」

「そうだよなあ……」

皆さんも誰かと話しているときに、つい「人それぞれ」と言ってしまうことはありませんか。ここにあげたような会話は、こんにち、いたるところで見られます。

(中略)

争いや対立を避けるにあたり有効なのが、「人それぞれ」のコミュニケーションです。というのも、「人それぞれ」のコミュニケーションには、対立を表面化させず、沈静化する作用があるからです。私たちは、お互いの意見が対立やぶつかり合いに発展するまえに、「人それぞれ」という優しさの呪文を唱えて、お互いの干渉を回避しているのです。

さて、それぞれの行為や主張を「人それぞれ」として受け入れる社会は、優しい社会と言えるのでしょうか。私はそうは思いません。というのも、人びとの行為や主張を「人それぞれ」と受け止める社会には、その言葉が発された瞬間から、対話の機会をさえぎるはたらきがあるからです。

かりに、皆さんが一緒に話している相手の決定や選択に、違和感や不満があったとしましょう。争いや対立を関係の存続を脅かすものととらえる社会では、このような違和感や

不満は、「人それぞれ」という言葉に飲み込まれてしまいます。それゆえ、そのときにわき起こった違和感や不満が表面に出てくることはありません。

相手の心理をはかりかねるときも同じです。そのようなときは、下手に話題を掘り下げると、対立を引き起こすかもしれません。それならば、「人それぞれ」という形で会話を引き取って、場を無難に収束させるのが肝要でしょう。

こうした行動の積み重ねの結果、「人それぞれの社会」で交わされる会話は、当たり前障りのない通り一遍のものになっていきます。

また、このような社会では、共感を得ることも難しくなります。かりに、ある人が、なんらかの意見に共感を求めているとしましょう。ここで、「人それぞれ」という言葉が発せられると、それ以上に踏み込んだ会話をを行うのは、難しくなります。だからこそ、私たちは「人それぞれ」という言葉に、なんとはなしの寂しさを覚えます。

冒頭にあげた女性は、もしかしたら、結婚についてもつと話したかったのかもしれない。しかし、「人それぞれ」という言葉が発せられると、それ以上に話を掘り下げるのは難しくなります。討論の事例も同じです。「人それぞれ」という言葉が発せられると、あまり議論は深まっていきません。

「人それぞれ」という言葉には、一見すると、相手を受け入れているような雰囲気があります。しかし、この言葉は、一度発せられると、互いに踏み込んでよい領域を区切ってしまう。それに加え、それぞれが選択したことの結果を、自己責任に回収させる性質もあります。

主義・信条を率直に表明できる「個を尊重する社会」を目指した私たちは、いつの間にか、それぞれの人たちを不透明な膜で仕切った「人それぞれの社会」をつくりあげてしまいました。「人それぞれ」の横行する社会で、対立や批判をも含んだ強韌な関係や、共感をともなう関係をつくることは難しいでしょう。

『「人それぞれ」がさみしい 「やさしく・冷たい」人間関係を考える』石田光規著

ちくまプリマー新書 二〇二二年より

問 「人それぞれの社会」についてあなたはどうか考えるか、八〇〇字以上一〇〇〇字以内で述べなさい。